

武蔵野の都立公園では、レンジャーが自然を守り、その素晴らしさを伝えています。

武蔵野の公園で見られる初夏～夏の樹の花



エゴノキ科

1. エゴノキ (斎墩果)

- 特徴：花のじくが長い
- 花の大きさ：2～3cm

5～6月に白い花がさきます。花はカップ型で、花びらは根元でくっついています。実は秋に熟しますが、実の皮にはサポニンという毒があります。



ガマズミ科

2. ガマズミ (莢蒾)

- 特徴：葉に波型のギザギザ
- 花の大きさ：約0.6cm

5～6月に白い花がさきます。花は若いえだの先に集まり、葉よりも上についてよく目立ちます。実は果実酒に使われます。明るい林や草地に生えます。



ミズキ科

3. ミズキ (水木)

- 特徴：葉の脈がへこんで見える
- 花の大きさ：約1cm

5～6月に白い花が集まってさきます。葉はえだの先に集まってつくことが多いです。日当たりのよい場所に生え、公園にもよく植えられます。



バラ科

4. コゴメウツギ (小米空木)

- 特徴：葉は三角形でギザギザ
- 花の大きさ：約0.4cm

5～6月に白い花がえだの先に集まってさきます。若いえだは赤っぽい色になり、横に広がってのびていきます。明るい林で見られます。



アジサイ科

5. ウツギ (空木)

- 特徴：木の皮がはがれる
- 花の大きさ：約1cm

5～6月に白い花が三角形に集まってさきます。葉には細かいギザギザがあり、えだは中が空洞になっています。日当たりのよい林に多く見られます。



モクレン科

6. ユリノキ (百合の木)

- 特徴：葉がTシャツのような形
- 花の大きさ：5～6cm

5～6月にチューリップに似た黄色っぽい花がさきます。北アメリカの木で、道路のそばにもよく植えられます。

- 花が咲く順番に並んでいます



ニシキギ科

7. マユミ (真弓・檀)

- 特徴：葉に細かいギザギザ
- 花の大きさ：約1cm

5～6月にうすい緑色の花がさきます。えだがよくしなり、弓の材料に使われたことから名付けられました。明るく、少ししめった場所に生えます。



センダン科

8. センダン (梅檀)

- 特徴：雄しべは筒型
- 花の大きさ：約1.5cm

5～6月にうすむらさき色の花がさきます。葉は小さく、羽のような形に集まってつきます。花はよい香りがして、公園に植えられることも多いです。

いち早く現れる植物たち

植物の種類によって育つ場所は違っています。クサギやアカメガシワのような「パイオニア種(先駆種)」と呼ばれる植物は、木を切った場所や空き地などを好みます。

このような場所は日がよく当たるので、初めは強い日差しが苦手な植物は育つことができません。でも、だんだん木陰ができてくると、様々な植物が見られるようになります。

パイオニア種は、後から生えてくる植物が育つための環境を整えるという、大切な役割をもっているのですね。

武蔵野の公園で見られる初夏～夏の樹の花



トチノキ科

1. トチノキ (栃・椴)

- 特徴：葉は大きな手のひら型
- 花の大きさ：2～3cm

5～6月に赤い点のあるクリーム色の花がさきます。花はえだの先に三角形に集まり、よい香りがします。日当たりがよく、しめった場所に生えます。



モクレン科

2. ホオノキ (朴の木)

- 特徴：葉は大きなだ円形
- 花の大きさ：約15cm

5～6月に白い花がさきます。花は真上を向いており、よい香りがします。葉は長さ30～40cmと大きく、昔は食べ物や包むのに使っていました。



バラ科

3. シャリンバイ (車輪梅)

- 特徴：葉は輪を描くように並ぶ
- 花の大きさ：約2cm

5～6月に白い花がさきます。たくさんのお花がえだの先に集まり、甘いよい香りがします。高さが1～4mの低木で、公園や庭によく植えられています。



マメ科

4. ハリエンジュ (針槐)

- 特徴：えだにトゲがある
- 花の大きさ：1.5～2cm

5～6月に白い花が三角形に集まってさきます。北アメリカの木で、花の蜜はハチミツのもとになります。公園や道路のそばによく植えられています。

*北アメリカ原産外来種



アジサイ科

5. ガクアジサイ (額紫陽花)

- 特徴：外側のお花はガクが大きい
- 花の大きさ：約0.7cm

6～7月に青色やピンク色の花がさきます。元々日本にあった花で、園芸アジサイのもとになりました。公園や寺社、庭など、多くの場所に植えられています。



クマツヅラ科

6. ムラサキシキブ (紫式部)

- 特徴：雄しべ、雌しべが長い
- 花の大きさ：約0.7cm

6～7月にうすむらさき色の花がさきます。花は葉の根元に10～20個集まり、秋には実がむらさき色に熟します。明るい林や公園などに多く見られます。



ミズキ科

7. ヤマボウシ (山法師)

- 特徴：木の皮がはがれる
- 花の大きさ：5～10cm

6～7月に花をさかせます。白い部分は花の外がわいある「ガク」で、真ん中に小さな花が20～30個集まっています。独特な形の実は甘く、ジャムや果実酒に使われます。

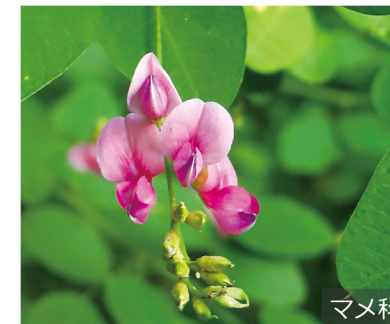


マメ科

8. ネムノキ (合歓木)

- 特徴：雄しべは長くピンク色
- 花の大きさ：3～4cm

6～7月にピンク色の花がさきます。小さな花が10～20個集まっており、花びらは目立ちません。明るい場所を好み、夜になると葉をとじます。



マメ科

9. ヤマハギ (山萩)

- 特徴：上の花びらが反る
- 花の大きさ：約1cm

7～10月に濃いピンク色の花がさきます。葉はだ円形で、花は葉より外につき出します。秋の七草の一つで、日当たりのよい場所で見られます。



クマツヅラ科

10. クサギ (臭木)

- 特徴：雄しべ、雌しべが長い
- 花の大きさ：約2cm

8～9月に白い花がさきます。葉をちぎると独特においが出ますが、花は香りがよく、アゲハチョウの仲間が集まります。秋には星形の実がつけます。